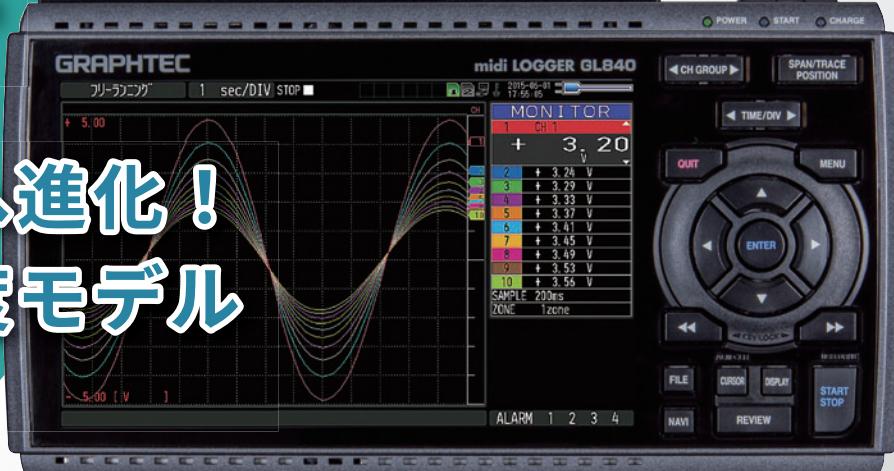


絶縁多チャネルハンディロガー
midi LOGGER
GL840 series

クリックで
リンクへジャンプ



商品詳細



さらなる極みへ進化! 高耐圧・高精度モデル

新機能追加!

- ・チェックサム(データ改ざん確認)機能
- ・FTPサーバー/記憶媒体へのCSVバックアップ機能
(ファームウェアVer.1.43以降)

※ 画像は高耐圧・高精度モデル GL840-WV

- 3種類の入力形態でさまざまな現象を測定可能
- 無線LANユニットでワイヤレス計測を実現
- 最高10msのサンプリング速度に対応
- 8GBメモリで長時間収録も安心

高耐圧・高精度モデル

midi LOGGER GL840-WV
midi LOGGER GL840-SDWV

218,000円
239,800円(税込)

高精度

電圧 $\pm (0.05\% \text{ of F.S.} + 10\mu\text{V})$ 温度 $\pm 0.9^\circ\text{C}$ (基準接点補償確度 $\pm 0.3^\circ\text{C}$ を含む)*T型熱電対使用時 : $-100^\circ\text{C} \sim +400^\circ\text{C}$ の範囲を測定した場合

高耐圧

入力端子 / 入力端子間 600V_{pp} 入力端子 / GND 間 300V_{pp}

計測データを その場で記録!

サーマルプリンタ

DP-581H 対応

160,000 円
176,000円(税込)※無線LAN使用時には、
GL840にオプションのB-568が必要です。※有線LAN使用時は別途市販の
無線LANアクセスポイントが必要になります。

遠隔監視・計測に対応可能 クラウド型バックアップサービス GRM-ONE BASIC

- 計測データとネットワークカメラ画像をクラウドサーバーへバックアップ
- 最大容量 10GB & 最大 30 台同時アクセス可能
- クラウドサーバー・PC 間は安心の FTPS データ転送
- GL-Connection で計測データと画像データを同時再生
- 30 日間の無料体験版をご用意

30日間無料体験!

※接続可能データロガー:
GL7000 Plus・GL2000・GL980・GL840シリーズ・GL240シリーズ・GLT400
接続可能ネットワークカメラ:弊社オプションまたは、使用環境を満たすカメラ
※G-DRIVEへのデータのバックアップはFTP/FTPSプロトコルを使用します。
※通信環境はお客様にてご用意が必要です。



商品に関しての詳細はこちら

G-DRIVE

計測データとカメラ画像を
バックアップ

高耐圧・高精度と標準の2モデルをラインアップ

	標準端子台・スクリューレス端子(B-564)・(B-564SL)	高耐圧・高精度端子台(B-565)
電圧	レンジ 最大入力電圧(入力端子-GND間) 20mV~100V 60Vp-p	20mV~100V 300Vp-p
温度	熱電対 R, S, B, K, E, T, J, N, C (旧 W : WRe5-26) 測温抵抗体 Pt100, JPt100, Pt1000(IEC751)	
測定精度	電圧 ±0.1% of F.S. 温度*1 ±1.1°C	±(0.05% of F.S.+10μV) ±0.9°C

*1: 温度精度は、下記の条件時の値となります。実際にご使用になる熱電対や温度により測定精度は異なります。
T型熱電対使用時で、-100°C~+400°Cの範囲を測定した場合(基準接点補償確度を含む)。

標準モデル
midi LOGGER GL840-M
midi LOGGER GL840-SDM



多チャネルの温度測定に最適

高耐圧・高精度モデル
midi LOGGER GL840-WV
midi LOGGER GL840-SDWV



2次電池等の電圧測定や
高精度な温度測定に最適

3種類の入力形態でさまざまな現象を測定可能

1. アナログ信号入力ポートは、絶縁マルチファンクション入力に対応

全チャネル絶縁入力方式を採用し、配線に気を配る必要がありません。さらにマルチファンクション入力に対応しており、さまざまな現象の測定が可能です。

電圧	20mV~100V	パルス	4ch*2 積算・瞬時・回転数
温度	熱電対: R, S, B, K, E, T, J, N, C (旧 W : WRe5-26) 測温抵抗体: Pt100, JPt100, Pt1000		
湿度	0~100%(オプションのB-530必要)	ロジック	4ch*2

*2: パルス・ロジックはいずれかを選択。オプションのGL用入出力ケーブル(B-513)が必要となります。

チャネル数は、標準20chから最大200chまで20chごとに拡張が可能です。(標準端子を使った、40chへのチャネル拡張方法)

1: 本体から標準装着の20ch端子台を取り外す



2: 本体にオプションの拡張端子接続ケーブルと拡張端子ベースを装着



3: 拡張端子ベースに標準装着の20ch端子台を取り付ける



4: 本体と拡張端子接続ケーブルで接続された拡張端子ベースに、20ch拡張端子と拡張端子ベースが接続された物を新たに取り付ける



チャネル拡張例	20ch	40ch	100ch	200ch
GL840 本体	1台	1台	1台	1台
拡張端子接続ケーブル	—	1本	1本	1本
拡張端子ベース	—	2台	5台	10台
20ch 拡張端子*3	—	1台	4台	9台

*3: 標準・高耐圧・高精度端子台は混在可能ですが、混在時の耐圧は、標準端子の耐圧となります。
GL820では高耐圧・高精度端子をご使用できません。詳細は、弊社ホームページにてご確認ください。

最大20mまで接続ケーブルで延長可能

GL840用拡張端子接続ケーブル(50cm、2mの2種類)を使用して本体-端子間または、端子-端子間を離すことが可能です。

*ノイズの影響がある場合は、サンプリング速度を遅くしてください。



無線LANユニットでワイヤレス計測を実現

無線LANユニットを装着することで、GLT400、GL100-WLを計測子機として接続したり、無線アクセスポイントと接続してワイヤレス計測ができます。



一台のGL840にGLT400含め最大200ch、またはGLT400を5台まで接続可能。
GL840からの設定・制御やGLT400で測定したデータをGL840内に保存可能です。

標準モデル
midi LOGGER GL840-M
midi LOGGER GL840-SDM



多チャネルの温度測定に最適

高耐圧・高精度モデル
midi LOGGER GL840-WV
midi LOGGER GL840-SDWV



2次電池等の電圧測定や
高精度な温度測定に最適



2. ロジック/パルスポートを4ch搭載

ロジックまたはパルス信号をいずれか4ch入力可能です。パルス信号の測定時にはチャネルごとに、積算・瞬時・回転数の測定モードが選択可能です。²

3. GL100のデジタルセンサを接続可能なデジタルセンサ接続ポート

GL100のセンサや端子/アダプタが接続可能。
さらに計測の幅を広げることができます。



温湿度センサ
GS-TH



CO2センサ
GS-CO2



4chサーミスタ端子*4
GS-4TSR



延長ケーブル*4/*5
GS-EXC



*GS-3AT/GS-4VT/GC-LXUV/GS-DPA-ACの4機種は販売終了いたしました

サーミスタ
GS-103AT-4P
GS-103JT-4P



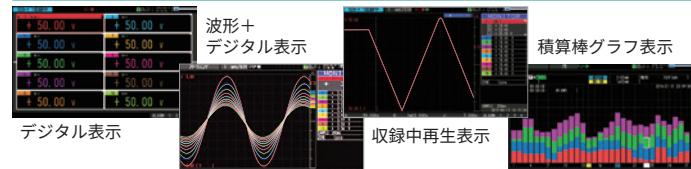
分岐アダプタを使用することで2種のセンサを装着可能
※温湿度センサ・CO2センサのみ



*4:在庫限りで販売終了。

*5: 延長ケーブルを連続して2本以上使用することはできません。

7インチTFT液晶で見やすい画面表示



無線LANユニット
B-568 18,700円(税込)
GL100-WLを介して、
GL100用センサ・端子・アダプタが使用可能です。

PetitLOGGER
GL100-WL
27,500円(税込)

最大5台まで接続が可能。
約40m(環境条件により異なります)

最高10msのサンプリング速度に対応

チャネル数を絞る事により最高10msでのデータ収録が可能です。

サンプリング速度	10ms	20ms	50ms	100ms	200ms	500ms	1s	2s
使用可能ch数	1	2	5	10	20	50	100	200
測定対象	●	●	●	●	●	●	●	●
電圧	—	—	—	—	●	●	●	●

*デジタルセンサおよびGL100-WLを接続時のサンプリング速度については、弊社ホームページを参照下さい。

その他の主な機能

●積算棒グラフ表示

積算データを表示可能なGSセンサを本器に接続(またはGSセンサを接続したGL100-WLと無線接続)して、収録を開始することで、収録データを積算棒グラフ画面で表示可能です。

積算棒グラフを表示可能なGSセンサは、GS-TH(温湿度センサ)、GS-DPA-ACとGS-AC○○A(AC電流用センサアダプタとAC電流センサ)、GS-LXUV(照度/紫外線センサ)です。

●アラーム出力機能*

異常信号発生時に、アラーム信号を出力することが可能です。各チャネルで条件設定が可能です。出力は4chを装備しています。

*6:オプションのGL用入出力ケーブル(B-513)が必要

●USBライブモード

GL840とPCをUSBケーブルで接続し、USBライブモードで起動すると、GL840がPCのライブの1つとして認識し、GL840内の測定ファイルをドラッグ & ドロップでPC内へ移動が可能です。

●ナビ機能

初心者向けに収録設定や簡単な無線LAN接続をナビゲーションします。

●3WAY電源に対応

GL840の駆動電源には、AC電源⁷、DC駆動⁸、バッテリ駆動⁹に対応しています。

*7:付属のACアダプタ使用 *8:オプションのDC駆動ケーブル(B-514)が必要

*9:オプションのバッテリパック(B-569)が必要

●豊富なネットワーク機能

WEBブラウザ / FTPサーバ機能

WEBブラウザ上で本体操作や波形表示が可能。本体内データのPC転送も可能。

FTPクライアント機能

バックアップ設定により、一定間隔で本体内データをFTPサーバへ転送が可能。(Ver.1.44以降バックアップ済みファイルの削除可能)

NTPクライアント機能

定期的に、本体時刻をNTPサーバの時刻に修正可能。

簡単操作を実現した標準付属PCソフトウェア / スマートデバイスアプリ

選べるメモリ形態でお客様の社内規定に柔軟に対応



標準メモリモデル (GL840-M / GL840-WV)

SDメモリカードの持ち込みが禁止の場所でも使用可能



SDメモリモデル (GL840-SDM / GL840-SDWV)

最大32GBまで、メモリの増量が可能¹⁰

【SD CARD2】スロット(両モデル共通)

無線LANユニット(B-568)または、SDメモリカードを装着可能(同時装着不可)



8GBメモリ内蔵(取り出し不可能)

標準メモリモデル (GL840-M / GL840-WV)のメリット

- メモリを内蔵しているので、SDメモリカードが持ち込み禁止のお客様でもご使用いただけます。
- 内蔵メモリのため、メモリの装着忘れて使用できません。

*10:弊社オプションのSDカード(B-572-8)以外の動作保証はいたしかねます。

【SD CARD1】スロット

8GBSDメモリカード付属取り出し可能(内蔵メモリなし)

SDメモリモデル (GL840-SDM / GL840-SDWV)のメリット

- 容量の多いSDメモリカード¹⁰を装着することで、メモリを増量できます。
- 無線LANユニットを使用したまま、SDメモリカードの抜き差しができます。(標準メモリモデルは不可)

8GBメモリで長時間の収録にも安心計測

標準8GBのフラッシュメモリを装備しています。収録データはGBD(グラフテックバイナリデータ)形式や、CSV形式で保存可能です。

収録時間例(アナログ20chのみ使用時、2GB収録時)*11

サンプリング速度 ¹²	10ms	50ms	100ms	200ms	500ms	1s	10s
GBD形式時	31日	77日	95日	108日	270日	365日以上	365日以上
CSV形式時	3日	11日	16日	21日	54日	109日	365日以上

*11:収録時間は、概算となります。

*12:サンプリング速度によっては、ch数に制限があります。10ms:1ch、50ms:5ch、100ms:10ch。

●リング収録機能

設定した収録点数以上になると、古いデータを削除しながら最新のデータのみを残します。(設定した収録点数)

設定可能点数:1000点～2,000,000点

●リレー収録機能

GL840の1回のデータ収録容量は最大2GBとなります。

本機能を使用する事により、データを取りこぼし無く任意のサイズや時間でファイルを区切って連続収録できます。

●収録中のSDメモリカード交換機能

データ収録中にSDメモリカードの入れ替えが可能な機能です。

*無線センサ(GL100-WL)を子機として接続して、サンプル間隔10・20・50msで収録中に交換できません。

*無線LANユニット(B-568)を装着した場合、SD CARD2スロットにSDメモリカードを装着することはできません。

●便利な機能

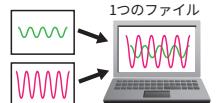
スケジュール測定機能

測定の開始 / 停止をスケジュール化でき、スケジュールに沿って自動的に測定の開始 / 停止を行います。



グループ機能で統括管理

グループ機能を使用することで、複数台使用時でも測定の開始 / 停止が一括で行えます。各機器の測定データもPC内に保存されるデータは1つのファイルとして統合されます。



●変換保存 & 間引き機能

GBD(グラフテックバイナリデータ)形式で保存されたデータをCSV形式に変換が可能。

間引き機能を使用する事で、一定間隔での間引きが可能です。間引き時の処理方法としてOFF、平均値、最大値、最小値の選択が可能。OFFは、一定間隔の特定点の値となります。

●専用アプリでSTART / STOPやサンプリング間隔設定、アラーム出力が操作できます。



(Android4.1 ~ 8.0)



